

平成30年度 入学式



④ 入学式で新入生を代表し宣誓する島袋さん
⑤ 歓迎の言葉を贈る在学生代表の浜野さん、
左は新習志野キャンパスでのサークル勧誘

「一步一步、仲間と」



入学式に続いて、本学の惑星探査研究センター（PERC）の松井孝典所長が「科学技術文明はなぜ発展するのだろうか？」と題して講演し、新入生に大学で学ぶ意義を説いた。写真。

ヒッグス場の発見（2012年）、重力波の初観測（16年）で二つの理論の正しさがそれぞれ証明され、科学が大きく進展するのが21世紀だと語った。



「科学や技術とは何か。科学というのはより良い説明を求めること。技術というのはより良い説明に基づいて、より良い生活を求めること。両者は車の両輪のように働

「世界とは何か」「ホモサピエンスとは何者か」「進化とは何か」など、宇宙の始まりから生命の誕生、文明の発展まで壮大な時間の流れを最新の科学的成果を織り交ぜ、宇宙的な観点で解説した。

松井PERC所長が講演

科学技術とは人間とは

「高校までは基本的に過去のわかっていること、見える世界について勉強してきただろうが、大学では見える世界の背後にある見えない世界を勉強していく。大学生として踏み出すまでに今日から過去にとらわれず、新しい発想で物事を考えたい」と奮起を促した。

努力誓い 2699人

平成30年度の千葉工業大学入学式が4月1日、幕張メッセ（千葉市美浜区）イベントホールで行われた。8万人を超える志願数の中から難関を突破した学部生と、さらなる専門分野の探求に挑む大学院生の合わせて2699人が、大学生活のスタートに努力を誓った。

今年度の新入生は工学部6学科895人、創造工学部3学科426人、先進工学部3学科400人、情報科学部2学科334人、社会システム科学部3学科335人と、大学院生309人（修士課程3研究科300人、博士後期課程3研究科9人）。

小宮一仁学長は式辞で、「世界文化に技術で貢献する」という建学の精神を説明し、世界に通用する社会人になるとい

う意識で学生生活を送ってほしい、と励ました。また、自身が大学1年生だった35年前、ノーベル化学賞受賞者の福井謙一博士に手紙を出し、対面する機会を得たことを語り、「福井先生は工学部出身。理学と工学は互いに補い合う関係である」という考え方の基本を教わった」と工学教育の重要性を説いた。

瀬戸熊修理理事長は祝辞

ニュースガイド

- 2面 卒業設計で櫻井さん最優秀賞／小木さん学生論文賞／PM春季発表・牧野さん最優秀賞
- 3面 伊藤さん優秀講演奨励賞／岩瀬さん学生奨励賞／小林さん優秀ポスター賞／緒方教授が機械学会賞／西村研究員のお手本ロボが優勝
- 4面 星空教室に100人／ジェフと本学が協定／本学に電子黒板寄贈／千葉市科学館にQuince常設展示／グッド・レクチャー賞に12教員
- 5面 鉄鋼協会、金属学会の講演大会 本学で開く／出版案内／夏期語学研修募集
- 6、7面 入学式 小宮学長式辞／瀬戸熊修理理事長祝辞／新入生インタビュー
- 8面 平成29年度学位記授与式

NEWS CIT

2018 4.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

で、産学連携で次世代ロボット・イクス家電の商品化に乗り出した未来ロボット技術研究センターをはじめ、先進的な研究に取り組み本学の研究・教育活動を紹介します。専門に特化した多くの研究室、研究センターで研鑽を重ね、夢の実現に向け有意義な大学生活を」とエールを送った。

在学生を代表し、浜野達朗さん（情報ネットワーク学科4年）が「4年後の自分を思い描いて細かい目標を設定し、達成を。つまずいた時には支えてくれる人に頼ってください」と歓迎の言葉を贈った。

新入生を代表し、島袋さくらさん（建築学科）が宣誓。「二歩一歩確実に

前に進んでいきたい。仲間とともに切磋琢磨し、自らの目標に向かって日々精進することを誓います。決意を述べた。閉式後も記念撮影する新入生と家族の列が続いた。

15年連続「AA-」

本学格付け「安定的」

本学の長期債務の信用格付けを「AA-」（ダブルエーマイナス）、格付けの方向性は「安定的」と公表した。AA-は15年連続で「安定的」評価は8年目。評価理由は、未来ロボット技術研究センター、惑星探査研究センターや研究成果を広く公開する東京スカイツリータウンキャンパスを持ち、情報発信力が高い▽教学改革に積極的で、さまざまな制度が留年者や退学者の抑制に効果を上げている▽2018年度入試では、大阪会場の新設やターゲットを絞った入試広報の効果で志願者が過去最高となり、また、実志願者も高水準で、強い学生募集力を維持しているなど。

OPEN CAMPUS 2018

6.17 SUN
8.4 SAT
12.16 SUN

千葉工業大学

伊藤さん 優秀講演奨励賞

HDDの磁気ヘッド位置決め制御系設計で

日本機械学会のIIP 2018情報・知能・精密機器部門講演会(3月14、15日、埼玉県川越市の東洋大・川越キャンパスで開催)で、伊藤淳さん(受賞時は機械サイエンス科4年、熱海武蔵研究所)が「HDD磁気ヘッド位置決め制御系におけるBoode plotを用いたH ∞ (無限)制御の改善法」を講演発表し、優秀講演奨励賞に選ばれた。

研究は、ハードディスクの磁気ヘッド位置決め制御系設計に関するもの。既存の制御系に対し、Boode plot(ポード線図)と呼ばれる手法を用いて容易に制御系の改善ができることを示した。



伊藤さん(左)が、優秀講演奨励賞を受賞した。背景は、ハードディスクの磁気ヘッド位置決め制御系設計に関する研究の成果を示すBoode plot(ポード線図)と呼ばれる手法を用いて容易に制御系の改善ができることを示した。

小林さん 優秀ポスター賞

高分子学会千葉地域活動若手セミナーで



小林さん(左)が、優秀ポスター賞を受賞した。背景は、高分子学会千葉地域活動若手セミナーで発表されたポスターの一枚。

高分子学会関東支部が産官学の若手研究者のために開く第35回千葉地域活動若手セミナー(3月14日、習志野市泉町の日本大生産工学部・津田沼キャンパス)で、小林紅留美さん(生命環境科)が「有機材料化学を研究しては、強く蛍光を放射したり安定な酸化状態を保つ有機化合物を合成し、有機ELパネルや照明、有機太陽電池などに役立っている有機材料化学を研究して

いる。小林さんは生体親和性の高いトレハロース(親水基)と、強い蛍光性を有する芳香族化合物のピレン(親油基)とを組み合わせたことで、細胞内

に導入可能な蛍光プローブを化学合成した。この蛍光発光のメカニズムをスペクトルなどによって詳細に解明し、さらに細胞内に導入したところ、実際に細胞が緑色

に発光することを見出した(生命科学科の黒崎直子教授との共同研究)。これらが今回の受賞につながった。

小林さんは「初めての研究会でしたが、日々の研

究をこんな形で評価していただき、とてもうれしかった。これを励みに大学院でも頑張りたいです」と語った。

定量的な予測に成功した。成果は、当時院生だった池田直人さん(現・株神戸工業試験場勤務)と連名で発表。日本機械学会論文集 第82巻第84号(2016年12月)に収録された。

同学会賞は、年ごとに過去3年の学会誌掲載論文を対象に決められている。

緒方教授が機械学会賞

論文3度目 耐熱金属材料のクリープ損傷研究で



緒方教授(左)が、機械学会賞を受賞した。背景は、耐熱金属材料のクリープ損傷研究に関する論文の一枚。

機械工学科の緒方隆志教授が2016年に発表した研究論文「CrMoV 鍛鋼環状欠き試験片のポイド成長シミュレーションに基づくクリープ損傷評価」について、日本機械学会は17年度の日本機械学会賞(論文)に選定。4月19日、東京・元赤坂の明治記念館で開いた年次総会で賞

状を贈った。緒方教授の同賞受賞は3度目。緒方教授は金属材料の強度評価、損傷機構の解明などを研究している。

高温機器の耐熱金属材料は、高温下で複雑な応力を受けるとクリープ損傷(空孔)が発生・成長し、解明が待たれている。緒方教授は、火力発電所の蒸気タービンローター用材料に使われているCrMoV 鍛鋼を対象に、高

温強度試験と電子顕微鏡観察、応力解析を行い、それまで明確でなかったクリープ損傷の進行に及ぼす複雑な応力の影響を解明した。

さらに、ポイドが成長するメカニズムに基づき独自に提案したシミュレーション手法を適用、複雑な応力条件下で進むポイドの発生・成長挙動の

緒方教授は「研究室に初めて迎えた院生との共著で、実験や解析に真剣な議論を重ねた結果が表彰につながったことをうれしく、光栄に思いま

す。ご協力いただいた多くの方々に感謝します。成果が、稼働中の高温機器の損傷や寿命評価精度の向上に役立てば幸いです」とコメントした。

岩瀬翔さん 学生奨励賞

ウェブサービス障害の影響研究で



岩瀬翔さん(左)が、学生奨励賞を受賞した。背景は、ウェブサービス障害の影響に関する研究の成果を示す写真の一枚。

情報処理学会の第80回全国大会学生セッション(3月13、15日、東京都新宿区の早稲田大・西早稲田キャンパスで開催)で、岩瀬翔さん(プロジェクトマネジメント学科)が「ウェブサービスの停止がプロジェクトに及ぼす影響を、Twitter上での反応を通じて調査した

写真」が「Twitter発言の分析によるウェブサービスの影響調査」を発表し、学生奨励賞を受賞した。

論文はGitHub(ギット)とハブソフトウエア開発プロジェクト用の共有ウェブサービスのよう

なウェブサービスの停止がプロジェクトに及ぼす影響を、Twitter上での反応を通じて調査した。岩瀬さんは「学内だけでなく、学外の発表で賞をいただけたことがとてもうれしいです。アドバ

イスをしてくださった先生や友人たちに感謝します」と語った。

TwitterはAPI(アプリケーション)と呼ばれる仕組みを使って調査できるが、岩瀬さんの研究にはあまり役に立たなかったため、それに変わるツールを自分で制作。今回の研究以外でも使える汎用的ツールを開発した。

岩瀬さんは「学内だけでなく、学外の発表で賞をいただけたことがとてもうれしいです。アドバ

イスをしてくださった先生や友人たちに感謝します」と語った。

ロボットグランプリ お手本ロボが優勝

日本機械学会主催の第21回ロボットグランプリは3月24、25日、東京・南千住の都立産業技術高

専・荒川キャンパスで開かれた。ロボットランサー競技には全国から58人がエントリーし、スタンダードクラスで西村健志・未来ロボット技術研究センター(fuRo)研究員のロボット「ザビエル」が優勝した。

未来ロボティクス学科から参加した学生たちの成績は▽鍬形篤史さん(4年)「Heccan」6位▽草野克英さん(2年)「↑航希↑」9位▽岡淳之介さん(同)「↑赤川↑」19位だった。

ロボットランサーは、自律型ロボットに「槍

を装備させた槍騎兵(ランサー)による競技。白線コースを60秒周回し、コース左右の標的を、槍でどれだけ正確に、数多く突けるかを競う。学生にとっては、ロボット作りの基礎技術を学べる競技。

今回、fuRoの西村研究員は、未来ロボティクス学科の学生たちを指導する傍ら、手本としてロボットを製作した。ランサー競技は実績順にマイスター、スタンダードの2クラスがあるが、西村研究員は学生たちと一緒にスタンダードクラスに参加し、確かな技術を示した。

西村研究員は「優勝はもちろん、指導学生たちも結果を残すことができ、うれしく思います。ワークセンターをはじめとした本学の設備はレベルが高く、研究やものづくりを行う上で非常に恵まれた環境だと改めて実感しました」と語った。

西村研究員は「優勝はもちろん、指導学生たちも結果を残すことができ、うれしく思います。ワークセンターをはじめとした本学の設備はレベルが高く、研究やものづくりを行う上で非常に恵まれた環境だと改めて実感しました」と語った。

西村研究員は「優勝はもちろん、指導学生たちも結果を残すことができ、うれしく思います。ワークセンターをはじめとした本学の設備はレベルが高く、研究やものづくりを行う上で非常に恵まれた環境だと改めて実感しました」と語った。

西村研究員は「優勝はもちろん、指導学生たちも結果を残すことができ、うれしく思います。ワークセンターをはじめとした本学の設備はレベルが高く、研究やものづくりを行う上で非常に恵まれた環境だと改めて実感しました」と語った。

西村研究員は「優勝はもちろん、指導学生たちも結果を残すことができ、うれしく思います。ワークセンターをはじめとした本学の設備はレベルが高く、研究やものづくりを行う上で非常に恵まれた環境だと改めて実感しました」と語った。



①(左から)岡さん、草野さん、西村研究員、鍬形さん ② ロボット作りを指導する西村研究員(右)

星々を眺め「宇宙旅行」も

天文研「星空教室」 習志野ドーム館に親子100人

プラネタリウムや天体観測を楽しむ「星空教室」文化会天文研部室（藤原克昭部長、機械電子創成工学科3年）主催の3月17日（土）午後3時から、習志野市総合教育センタードーム館（旧プラネタリウム）で開かれた。東習志野小学校の児童・保護者約100人が参加。部員たちの自己紹介の後、前半は星座にまつわる歴史を勉強した後、後半はプラネタリウムを上映。季節の美しい星々が天井に映し出された。今回は仮想宇宙空間ソフトのMITRARAを使ってバーチャル体



① 星座を学び早見盤作り ② 戸外で天体観測

最後は、戸外で天体観測。望遠鏡で金星、火星などの惑星を見た子どもたちは大はしゃぎで、スマホで月を撮る子も。保護者たちも一緒に望遠鏡をのぞいた。藤原部長は「戸惑うこともあった。しばし宇宙旅行気分も味わった。」

本学に「電子黒板」寄贈

千葉銀・武蔵野銀行 寄付型私募債で

資本・業務提携している千葉銀行と武蔵野銀行が取り扱う寄付型私募債の仕組みを使って購入したデジタルホワイトボード（電子黒板）が3月14日、本学に寄贈された。寄付型私募債は、起債する企業の社会的責任を具体的な形にして地域社会にアピールするのが狙い。千葉銀は「みらいはぐくみ債」、武蔵野銀は「みらいのちから」の商品名でそれぞれ取り扱っており、銀行が受け取る発行手数料の一部で、発行企業が指定する学校などに寄贈している。本学を寄贈先に選んだのは、マンシヨンなどの大規模修繕・改修工事業のヤマギシリフォーム工業（本社・東京都品川区、資本金1億円）。同社には現在、2人の本学卒業生が在籍して活躍している。また「みらいはぐくみ債」と「みらいのちから」を併せて利用していることから、初の2行共同での寄贈となった。津田沼1号館2階役員



理事長（右）と小宮一仁学長が「電子黒板」を寄贈する様子

「Quince」を常設展示

千葉市科学館 西村研究員がトークイベント

日常の視点で科学を捉え、子どもから大人まで楽しめる参加体験型の施設として親しまれている千葉市科学館（千葉市中央区、きぼる内）に3月19日から未来ロボット技術研究センター（furo）が開発したレスキニューロボット「Quince」が常設展示されている。これに合わせて3月21日に西村健志研究員が「社会に役立つロボットを指して」と題したトークイベントに出演した。「Quince」が展示されるのは、きぼる9階の同科学館「ロボットと技術コーナー」。展示には「Quinceは化学、生物、放射性物質、爆発物に関連した災害が起きたときに、救助隊員の代わりに災害現場に入



ロボットの操作の様子

ジェフと本学が協定

スポーツ活動や地域振興で連携

本学は3月16日、サッカーリーグの「ジェフユナイテッド市原・千葉」と、なでしこリーグの同レディース（略称・ジェフL）を運営するジェフユナイテッド（株）と、スポーツ活動や地域活動を通して地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする包括的連



携協定を締結。瀬戸熊修理事長と前田英之代表取締役が協定書を取り交わした。本学は2016年5月に人工芝敷設が完成した西浜運動施設のサッカー場を、学生の体育の授業やサッカー部の練習に使うほか、ジェフLの練習場として貸し出し、親密な関係が続いている。ジェフユナイテッドの企業としての使命は、プロサッカーチームの運営を通して地域振興に貢献し、有為な若者を育成すること。そのためのサッカー活動の場と環境の確保が常に大きな課題だ。前田代表取締役は協定調印式の挨拶で、「千葉



グッド・レクチャー賞に12教員

29年度後期 「ベスト」は該当者なし

平成29年度後期グッド・レクチャー賞に教員12人が選ばれ、4月3日の受賞式で小宮一仁学長から表彰された。前後期のグッド・レクチャー賞からさらにベスト・ティーチャー賞を選出しているが、残念ながら今年は該当者なしとなった。グッド・レクチャー賞受賞者は次の通り（順不同）。

- ▽小山和也教授「電気化学」「材料電気化学」
- ▽石原沙織准教授「建築構造材料」
- ▽米田完教授「ロボット構造力学」
- ▽田隈広紀准教授「企業と経営」
- ▽内海秀幸教授「応用力学」
- ▽井上泰志教授「表面物性学」
- ▽鴻巣努教授「コミュニケーションマネジメント」
- ▽須藤勲准教授「言語と文化2」
- ▽東山幸司教授「物理学応用」
- ▽佐藤和准教授「スポーツ科学」
- ▽木島愛准教授「言語と文化2」
- ▽畑誠之介准教授「スポーツ科学」

とも多かったけど、先輩方や部員の協力で無事に終了できました。移動時の誘導など、リハールマホで月を撮る子も。保護者たちも一緒に望遠鏡をのぞいた。藤原部長は「戸惑うこともあった。しばし宇宙旅行気分も味わった。」

理事長（右）と小宮一仁学長が「電子黒板」を寄贈する様子

「Quince」の後継機「櫻老號」と天井裏点検ロボットの「GERB」が運び込まれた会場のプラネタリウムには約180人の親子連れなどが詰めかけ、西村研究員の指導で操縦体験を楽しんだ。写真。この中で同研究員は、Fallin&Flyerなどの他のロボットも映像で紹介しながら、子どもたちと「ロボットとは何か」をやりとり。ロボットとは「感じて、考えて、動く賢い機械」であり、「人がやりたくないこと」「人にはできないこと」もやる「人の役に立つ」多くのロボットが作られていると話しかけた。そして、ロボット作りに大切なことは「楽しく作る」「どうして失敗したのかを考える」ことが大切で、「学校の勉強が必ず役に立つ」と結ぶと、子どもたちは納得の表情でうなずいていた。



新習志野キャンパスで開かれた講演大会

鉄鋼協会、金属学会 講演大会 本学で開く

新習志野キャンパスに全国から3千人

日本鉄鋼協会の第17回春季講演大会と、日本金属学会の2018年春期(第162回)講演大会が3月19〜21日、新習志野キャンパスで本学が共催して開かれた。全

国から研究者・技術者・大学院生など延べ約3千人が参加。本学の研究成果10件余りも発表され、キャンパスは「材料」一色となった。

両大会では講演、討論会、シンポジウム、ポスターセッションなど合わせて約140のセッションが設けられた。また、1千件以上の発表があり、海外からも約1000人が参加した。参加者からは「ロケーション、設備、食堂、ポスターセッション、懇親会と、どれも過去最高」との声が上がった。

最終日には、学生たちへの進路サポートの一環として素材・材料関連企業約40社による企業説明会を、本学就職・進路支援部の協賛で開催。本学学生50人余など過去最多の学生が参加した。



生命科学系学生のために、本学の河合教授ら3人が、現在の生命科学を支える構造生物学について、その要点をまとめた。重要なタンパク質と核酸の立体構造やその解析手法を、5章に分けて説明している。



河合教授



坂本教授



根本准教授

生命科学系の教科書



エッセンシャル 構造生物学

著者 千葉工大生命科学科の河合剛太教授、坂本泰一教授、根本直樹准教授による共著

発行 講談社

価格 3456円(税込み)

第1章は、分子生物学と生化学の基礎について。生体分子や立体構造の決定法を学ぶ。

第2、第3章では、タンパク質や酵素、核酸、DNA・RNAの基本構造や機能、さらにタンパク質や核酸と他分子との相互作用などを詳述する。

第4、第5章では、生体高分子の構造解析について。X線による結晶構造解析法、NMR(核磁気共鳴)法の原理と測定・解析方法などを説明している。

また、近年進歩した低温電子顕微鏡(クライオ電子顕微鏡、極低温電子顕微鏡、超低温電子顕微鏡)を紹介したあと、応用分野の例として、創薬への道も示す。

将来、構造生物学分野で活躍したい学生の教科書として、また、研究者の参考書としてもお薦め。170ページ。

移動ロボットやドローンが自身で地図を作るSLAM (Simultaneously Localization and Mapping) 技術についての入門書。

Google Mapのような既存市街地図を用いて移動ロボットの自己位置を推定する方法を提案し学会をリードする友納副所長が、SLAMの基礎知識



友納副所長

自律で地図を創る技術

や理論を説明する。本書は、プログラムをつくりながら考えるスタイルをとっている。「まず原理も構造も簡単な部品をつくり、問題解決をしながら改良して部品を置き換える」という手順で、段階的に理解を深めていく。

2D/2D型のSLAMシステムを主に車輪型ロボットで用いることを想定し、センサは2Dレーザスキャナとオドメトリを使用。プログラミング言語C++の知識を前提とするが、あまり高度なC++は使用しない。オペシエクト指向設計の知識がなくてもSLAMの本質に迫れる。214ページ。



SLAM入門

ロボットの自己位置推定と地図構築の技術

著者 友納正裕・千葉工大未来ロボット技術研究センター (Future Robotics Center) 副所長

発行 講談社

価格 2916円(税込み)

平成30年度 夏期語学研修 募集のお知らせ

英語研修 in グアム

期 日 2018年8月1日(水)～8月25日(土)の25日間

研修先 グアム大学

宿泊先 レオパレスリゾート・グアム

費用 35万円前後(為替及び参加人数により変動あり)

募集数 25人

内容 ①グアム大学で英語研修・グアム文化授業(単位認定可)
②グアム大学生との交流

海外インターンシップ in ベトナム

期 日 2018年8月5日(日)～8月31日(金)の27日間

期 場 ベトナム(ダナン市内)にある現地企業または日本企業現地営業所

費用 渡航費及び現地滞在費(宿泊代・食費・生活費)で15万円前後

募集数 若干名

内容 ①FPT大学でのビジネス英語研修(1週間)
②FPTソフトウェアほかIT関連企業でインターンシップ(3週間)(単位認定可)

中国語研修 in 台北

期 日 2018年8月1日(水)～8月9日(木) 9日間

研修先 国立台北科技大学(台湾)

宿泊先 近隣ホテル

費用 13万円前後(為替及び参加人数により変動あり)

募集数 10人

内容 ①国立台北科技大学で中国語研修(学年により単位認定可)
②台湾文化体験・企業視察

英語研修 in カリフォルニア

期 日 2018年8月1日(水)～30日(木)の30日間

研修先 カリフォルニア大学アーバイン校

宿泊先 ホームステイ

費用 57万円前後

募集数 20人

内容 ①カリフォルニア大学アーバイン校で英語研修(単位認定可)
②ホームステイ・カリフォルニア大学アーバイン校学生と交流

◇説明会(内容は各研修説明と同じです)

新習志野キャンパス(1号館1階1102教室) 4月25日(水)12:20～・16:40～
5月9日(水)12:20～・16:40～

津田沼キャンパス(6号館1階612教室) 4月27日(金)16:40～
5月8日(火)12:20～

問い合わせ先 国際交流課(津田沼1号館1階)電話047-478-0245
申し込み 5月10日(木)～5月18日(金)17:00まで
申込書提出先 新習志野学生課・津田沼学生課

(説明会に出席できない方も遠慮なくお問い合わせください)

平成30年度 入学式



小宮一仁学長 式辞

本日ここに平成30年度入学式を挙げるに当たり、新入生並びに御列席頂きました御父母・御家族・御友人の皆様に対し心より御祝いを申し上げます。

今年、千葉工業大学は8万人を超える志願者を集めました。大変な難関を突破し晴れて千葉工業大学の入学式を迎えられた皆さんの感慨もひとしおだと思えます。今日、才気溢れ前途洋々たる皆様をお迎え出来たことは、千葉工業大学にとりまして大きな慶びであります。

自己の可能性、引き出して

創立時から大学予科3年・本科3年の教育課程を認められたのは、早稲田大学、慶應義塾大学として千葉工業大学の3つの大学だけでした。

建学の精神

千葉工業大学は昭和17年に旧制大学として創立されました。日本では国立の東京工業大学に次いで2番目に長い歴史を持つ工業大学です。戦前は官立以外の大学において工学教育を行うことがなかなか認められなかったこともあり、工学部を設置できた私立大学はごく僅かでした。その中でも

到し、当時の若者たちの羨望を集めた大学であったことが窺えます。

彼らと共に本学の創立に大きく関わった我が国を代表する哲学者である西田幾多郎先生は、本学の設立趣意書に「広く世界に知識を求める好学力を持ち、日本だけではなくアジアを背負い世界文化に尽力する人物を養成する」と書き、建学の趣旨を明らかにしました。

この理想は「世界文化に技術で貢献する」という建学の精神として、本学に関係する全ての人々によって今日まで脈々と受け継がれています。

グローバル化した世界において、人々が未来への確かな指針を待ち望んでいる現代社会において、世界を目指して創立され、常に世界を意識して発展してきた千葉工業大学の重要性は益々高まり、人類の未来を切り拓くための創造性を生み出す源になるものと考えます。

今日入学された皆さんには、常に「世界に通用する社会人になる」ということを意識して大学生活を送っていただきたいと思えます。

理学と工学

私事ではありますが、私は35年前に大学に入学しました。そして入学した年に、ノーベル化学賞を受賞された福井謙一先生にお会いして直接お話を伺える機会がありました。

質」の中でこう述べています。「国土は狭小となり、天然資源にも恵まれない日本は、逆に人口の激増を来し、国民同胞の生活が不安に陥って居る現状である。科学は真理の追求であり、直接に生活の安定を企図するものではない。工業に関する技術は性質上科学より来校していただきたい。

福井謙一先生は、我が国では初めての工学部出身のノーベル賞受賞者であり、初めてのノーベル化学賞の受賞者でもあります。先生は、理学の使命は自然界の真理を探究することであり、工学の使命は理学が導いた真理に基づき価値を探究することであること。但し、

理学と工学は常に相補的な関係にあり、価値を探究する過程で新たな真理が発見されることが多々ある、ということを教えてくださいました。これは、今でも私の工学に対する考え方の基本になっています。

なお余談ですが、現在では、日本出身のノーベル賞受賞者26名のうち、理学を修められた方が12名、工学を修められた方が8名います。

京都帝国大学総長から本学の初代学長になった、哲学者・教育学者の小西重直先生も、昭和22年の著書「民主教育の本質」の中でこう述べています。「国士は狭小となり、天然資源にも恵まれない日本は、逆に人口の激増を来し、国民同胞の生活が不安に陥って居る現状である。科学は真理の追求であり、直接に生活の安定を企図するものではない。工業に関する技術は性質上科学より来校していただきたい。

は様々なことを学びます。この場には学部生の皆さんと大学院生の皆さんがいらっしやいますが、専門性を高め学問と研究を極めるために集まった大学院生の皆さんは、まさに英知の集団と言えま

す。専門的な知識や語学力を研鑽し、既に修士課程修了者の平均的な生涯所得が学部卒業者のそれよりも16・5%高くなっていることから、各所の主要なポジションには大学院修士課程修了者が多く就いているという研究成果も発表されています。

皆さんには将来グローバルリーダーとして活躍していただきたいと思っておりますので、私は多くの人に、学部卒業後は大学院修士課程へ進学することを、今から強く薦めたいと思えます。

千葉工業大学に入学された皆さんが充実した大学生活を送られることを願っています。これから

の学生生活において自己の可能性を最大限に引き出し新しい課題に果敢にチャレンジされることを心から期待して私の式辞といたします。



岡野 倫之さん
知能メディア工学科
テレビでAIの特集をやっている興味がある。先生には聞きづらいことも先輩方がいろいろ相談に乗ったり教えてくれたりするというところで安心しています。



伊藤 紀智さん
生命科学科
DNAや細胞など生物のミクロの世界を勉強するのが楽しみ。何でも試したい性格で、お菓子作りでも失敗すると分かっているから材料の配合を変えてみないと気がすみません。社会で通用する知識や技術を身につけるため頑張ります。



黒坂 真凜さん
デザイン科学科
動物が好きで家には猫が4匹、以前は犬も飼っていました。脚が悪い動物でも楽しく過ごせる器具や家具など、動物の目線で考えたものをデザインしたいと考えています。パソコンを使ってデザインできるようにするのが楽しみです。



早川 優奈さん
建築学科
テレビのリフォーム番組から建築に興味を持ち、思い通りの家を見てみたいと思うようになりました。オープンキャンパスの「チバテックの部屋」で女子の先輩たちが親身に話を聞いてくれたのがうれしくて、千葉工大に決めました。



丸山 稔斗さん
機械電子創成工学科
テレビのリフォーム番組から建築に興味を持ち、思い通りの家を見てみたいと思うようになりました。オープンキャンパスの「チバテックの部屋」で女子の先輩たちが親身に話を聞いてくれたのがうれしくて、千葉工大に決めました。



林 優花さん
機械工学科
小さい頃から機械に興味があり、父が車のエンジンを点検する時は必ず横で見せていました。将来は家電づくりに携わるのが夢。食事の後片付けを自動でやってくれるとか、「あったらいいな」を形にして不便を解消できればと思っています。

新入生インタビュー

「あったらいいな」を形に

勉強してロボット作りしたい

千葉工大の作ったロボットが福島第一原発で活躍しています。新型aiboをみても技術の進歩が分かるし、自分も勉強してロボットを作りたい。サークルは中学、高校で打ち込んだ卓球を続けようかテニスにしようか考え中です。

テックの部屋で話を聞いて

テレビのリフォーム番組から建築に興味を持ち、思い通りの家を見てみたいと思うようになりました。オープンキャンパスの「チバテックの部屋」で女子の先輩たちが親身に話を聞いてくれたのがうれしくて、千葉工大に決めました。

動物の目線で考えデザイン

動物が好きで家には猫が4匹、以前は犬も飼っていました。脚が悪い動物でも楽しく過ごせる器具や家具など、動物の目線で考えたものをデザインしたいと考えています。パソコンを使ってデザインできるようにするのが楽しみです。

ミクロの世界 勉強が楽しみ

DNAや細胞など生物のミクロの世界を勉強するのが楽しみ。何でも試したい性格で、お菓子作りでも失敗すると分かっているから材料の配合を変えてみないと気がすみません。社会で通用する知識や技術を身につけるため頑張ります。

学生サポーター制度に安心

テレビでAIの特集をやっている興味がある。先生には聞きづらいことも先輩方がいろいろ相談に乗ったり教えてくれたりするというところで安心しています。



瀬戸熊修理事長 祝辞

皆さん、ご入学おめでとうございます。

併せて本日ご列席のご父母・ご家族の皆さまに重ねてお祝いとお慶びを申し上げます。私も役員・教職員・在学生一同、そして多くの同窓生と共に心から歓迎いたします。

千葉工業大学は、1942年、東京町田市で「興亜工業大学」として、産声を上げた、我が国で唯一、最も古い歴史と伝統を誇る旧制私立工業大学が前身であります。

「世界文化に技術で貢献する」ことを76年前に建学の精神として掲げ、一期生160人で船出をし、今日まで約1万人規模の大学に大きく成長発展してまいりました。

さて、今年の入学試験を振り返りますと、国内にある国公私立大学は779大学。本学の志願者総数は、初めて8万人を超え、全国大学志願者ランキングでも、大規模総合大学が上位を占める中で、3年連続のベスト10入りを果たしました。そ

「とつぷやくと、すかさず寅さんは、「決まってるわなあ、そりゃあ勉強するためにです」と応えた。さらに満男は「じゃあ何のために勉強するのかあ？」と、この「なぜ学ぶのか」の問いは、古代ギリシアの哲学者ソクラテスをほじめとする多くの賢者たちを悩ませた難しい問いでもあります。しかし、寅さんはいとも簡単明瞭な言葉で応えます。「人間、長い間生きていりゃあ色々なことにぶつかると、そんな時、俺みたいに勉強してない奴は、この振ったサイコロの目で決めるとか、その時の気分で決めるよりしようがない。ところが勉強

新しい挑戦

という「流れを持った学び」が、人を大きく成長させるものと私は確信しています。

昨年12月に、世間をあっという間に驚かせた本学発のビッグニュースがありました。今まで大学の研究成果が実用化・製品化されずに埋もれてしまっている、産学連携のほとんどが基礎研究に留まり、その先に進むには企業と大学の目的意識の違いや考え方や様々な問題が横たわっているからです。そのような不可能と思われていた困難な課題を一つずつ乗り越え、まさに快挙と言っても過言ではない夢のプロジェクト

研鑽を重ねて、夢の実現を

活動」に勤しみ、未来へと続く夢街道にひたすら思いを馳せているのではないのでしょうか。

なぜ学ぶのか

先日、たまたま見たBSテレビで、国民的人気映画シリーズと言われた「男はつらいよ」の一場面、国民栄誉賞を受賞した今は亡き映画俳優・渥美清さんが演じる主人公の「フーテンの寅さん」と「甥の満男」とのシーンで、ふと、2人の会話

が私の耳に留まりました。それは、大学受験に失敗して浪人し、「進学・勉強」に悩んでいる満男が「おじさん、何のために大学へ行くのかなあ



幕張メッセ・イベントホールで行われた入学式

は、早くも同国のフアラシ宇宙庁長官が、東京スカイツリータワーを視察に訪れました。そして視察直後に、アラブ首長国連邦に新設予定の「隕石分析センター」への研究支援の要請も新たに加わりました。いかに本学の存在感が国内外に高まっているかを示していることと想います。

この他に、AIが花を識別する「HANANO NA(花の名)」を開発し、昨年「グッドデザイン賞」を受賞した「人工知能ソフトウェア技術研究所」が中心となり、国立大学を含む複数の大学の取りまとめ役となつてこのプロジェクトを進めていく事が決まりました。

ご承知の通り、アラブ首長国連邦は、日本にとって最大の石油供給国の一つであり、このプロジェクトは、両国の国家戦略の一翼を担っています。

不安抱き前進

さて、わくわくしながら新しい時代への挑戦に向かう皆さんには、あふれるばかりの希望と共に、いくばくかの不安もあるかと思えます。「自己啓発の女王」と呼ばれているスーザン・ジェファースは、イギリス・タイムズ誌の中で、「不安を感じるのは、成長し、人生の試練を受けとめていく証しだ」と述べ、「不安は限界を知らせるものではなく、そのまま前進せよ」と示唆しています。

千葉工業大学には長い歴史と伝統の中で育まれ、専門に特化した多くの研究室、研究センターがあります。有能な教育・研究スタッフと共に、多くの学友と研鑽を重ね、論理的な思考を習得し、一人ひとりの未来への大きな夢の実現に向けて、有意義な大学生活を送られることを心から祈念し、私の祝辞と致します。

しっかりとAIを学びたい

情報ネットワーク学科



松田 光平さん

工業高校の電子科出身ですがプログラミングの知識は初心者程度なので、しっかりとAIについて学びたい。学生寮の生活は食事がおいしく、同じフロアに高校時代の友達もいて快適です。何か運動系のサークルに入るつもりです。

資格取得から起業を目指す

金融・経営リスク科学科



鈴木 善貴さん

高校時代はITパスポート、第二種電気工事士、技能検定(機械加工)、機械製図検定など資格取得に励みました。金融を勉強しようと思ったのは池上彰さんが高校生向けに書いた「資本論」の解説本がきっかけで、起業を目指しています。



入学式に彩りを添えた吹奏楽部の演奏



④ 食堂で新生活を始める瀬戸熊理事長
⑤ 式後、教室で新生活にガイダンス

2206人に学位記

平成29年度 授与式



小宮学長(前列中央左)、瀬戸熊理事長(同右)と学生表彰受賞者たち



坂本洋同窓会会長(前列中央)と同窓会会長賞受賞者たち

理事長賞 石井さん 学長賞 富川さん、伊藤さん

平成29年度学位記授与式が3月22日、幕張メッセ・イベントホールで行われた。

今年、新たな一歩を踏み出したのは学士1982人、修士212人、博士12人の計2206人。

午後2時に開式、校歌斉唱、学位記授与と続き、工学部6学科を代表して機械サイエンス学科の荒井猛さん、情報科学部2学科を代表して情報

平成29年度 学生表彰者

種類	氏名	学科
理事長賞	石井与詩乃	デザ
	富川 巽	生環
学長賞	伊藤 知貴	情報
	荒井 猛	機電
優秀賞	佐井田 梓	電情
	木下 あゆ	建都
	木村 朱里	デザ
	宮本 裕紀	口ボ
	片岡 玄太	情ネ
	田口 裕章	経情
	加瀬匠 汰朗	P M
	沼澤 隆二	金融
	若林 泰斗	機電
	新藤 弘樹	電情
	土橋 梨花	生環
	田中 章仁	建都
	中村 拓哉	デザ
	笠 太志	口ボ
	松本 瞳花	情報
同窓会会長賞	増田 宗一	情ネ
	土井 良文	経情
PPA会長賞	谷口 和幸	P M
	荒木理沙	金融
P P A会長賞	長瀬 貴弘	電情
	渡壁 一樹	電情
P P A会長賞	中田聡一郎	経情
	中田聡一郎	経情

平成29年度千葉県知事賞	石井与詩乃	デザ
千葉県知事賞	石井与詩乃	デザ
平成29年度千葉市大学市長賞	大滝 優	電情
千葉市大学市長賞	大滝 優	電情

工学部の伊藤知貴さん、社会システム学部3学科を代表して経営情報科学の田口裕章さん、大学院工学研究科6研究科を代表して機械サイエンス専攻博士前期課程修了生代表の池田一貴さん、情報科学研究科情報科学専攻博士前期課程修了生代表の北原賢

一さん、大学院工学研究科工学専攻博士後期課程修了生代表の石井要次さん、情報科学研究科情報科学専攻博士前期課程修了生代表の顧優輝さん、社会システム科学研究科マ



理学部2学科を代表して情報科学専攻博士前期課程修了生代表の北原賢一さんがそれぞれ登壇

大きな賞を受賞でき、本当に驚いています。まさか私が!? 自動車部で研究や活動を共にしてきた部員のおかげと本当に感謝しています。今後も細々と大会に参加しますので、後輩たちも(特に女子部員)頑張ってください。4年間ありがとうございました。



理事長賞 石井 与詩乃さん

まさか?と驚きは隠せませんが、1年のときからこのこと努力してきたことが証明されたように、本当にうれいいます。友人の助けがあってこそこの受賞に感謝しています。今後、大学院に進学するので、この賞に見合った行動、成果を出していきたいです。



学長賞 富川 巽さん

4年間、一生懸命学業に勤しんできたことが評価されたんだなあと、やっとなんか感動しています。大学で学んだことを、実社会で生かせるよう、全力で頑張りたいと思います。友人、教職員の皆様、支えてくださった全ての方々に感謝します。



学長賞 伊藤 知貴さん

を、各学科の成績優秀者に優秀賞を、優秀賞該当者の中から特に成績が優秀な卒業生に学長賞が贈られたほか、計26人が表彰を受けた。

石井さんはさらに、体育会自動車部女子選手としてさまざまなタイトルで優勝するなど輝かしい戦績を収め、学業との両立を果たしたとして千葉県知事賞を、また、電気電子情報工学科の大滝優さんは、文化会鉄道クラブ部長として部を取りまとめ、千葉市開催の祭りなどでミニ電車の出張運転を行うなど千葉市の活性化に貢献したとして

今年度、理事長賞に輝いたのはデザイン科学科の石井与詩乃さん、学長賞に生命環境科学科の富川巽さん、情報工学科の伊藤知貴さん。

石井さんはさらに、体育会自動車部女子選手としてさまざまなタイトルで優勝するなど輝かしい戦績を収め、学業との両立を果たしたとして千葉県知事賞を、また、電気電子情報工学科の大滝優さんは、文化会鉄道クラブ部長として部を取りまとめ、千葉市開催の祭りなどでミニ電車の出張運転を行うなど千葉市の活性化に貢献したとして

編集だより 春です。新入生、新入社員、異動など、「初めまして」、「おめでとう」の言葉が相次ぐ……。 本学では4月1日、春爛漫のまぶしい光の中、新入生2699人が新しい学びで大学生活をスタートした。緊張と不安



と期待とが入り混じった面持ちが眩しくて、新入生と出会うのは毎年、楽しみのひとつである。 また、今年入学式開催日が日曜日ということもあり保護者の出席も多く、3階席までびっしり。記憶する限り最少の残席率ではなからうか。 式後の新習志野キャンパスでは、満開をちょっとすぎた桜並木と、満面の笑みで迎える学生らの

サークルの勧誘活動に歓迎され、高校とは全く違うキャンパスの空気を感したに違いない。 大げさではあるが、この日の一歩から将来の進路は始まっている。色々な道を曲がったり、走ったり、ときにははぐっくり眺めたり……。充実した悔いのない4年間になりますように。 入試広報課 大橋 慶子

生まれ変わりました。毎日ぎゅぎゅぎゅに詰め込まれ周りの人と密着しての通勤は、かなりの苦痛でしたが、今回のダイヤ改正で多少緩和され、ちょっぴり楽になったような気がします。 毎朝、同じ時刻、同じ車輻のおなじみの顔ぶれは、決して言葉は交わさ

ないけれど気になる存在です。画面が擦り切れそうなくらい懸命にゲームに夢中になっている女性の叩き出すスコアを覗き見したり、立ったまま居眠りしてドアに頭をガンガンぶつける高校生にハラハラしたり。 中でも、一番気になるのが、ランドセルを背負い黄色い帽子を被りサラリーマンの列にまぎれてる小学生です。容赦なく電車に乗せられて、大人達に埋もれている姿を見る度に、ちゃんと呼吸

4月になり、入学・引越等、様々な理由で電車のメンバーも変わることでしょう。黄色い帽子の彼も進級して、少し遅くなっていくかもしれません。 総務部人事課 鈴木みのり

四季雑感 3月17日、小田急線が生まれ変わりました。毎日ぎゅぎゅぎゅに詰め込まれ周りの人と密着しての通勤は、かなりの苦痛でしたが、今回のダイヤ改正で多少緩和され、ちょっぴり楽になったような気がします。 毎朝、同じ時刻、同じ車輻のおなじみの顔ぶれは、決して言葉は交わさ



キャンパスで行われた保護者説明会でも多くのご父母の皆様が参加して頂いていることや、熱心にメモを取っている方を多く見ると、大学教育について関心の高まりが強く感じられました。 私事になりますが、本学に入学したのは40年以上前のことになりました。 まだ新習志野キャンパスも、幕張メッセも、京葉線も、東京ディズニーランドも無い時代でした。 入学式は、津田沼キャン

できてくると、閉所恐怖症の私は、ドキドキします。近くに立ったときは、守ってあげたい母性本能が芽生え、妙に踏ん張って筋肉痛に。(しかも数日後……。)

今年度の入学式は、大学院を含め約2700名の新入生を迎えて幕張メッセのイベントホールで挙行されました。好天に恵まれた日曜日であったこともあり、約3000席の観覧席が埋まるほどの例年にも増してのご父母の皆様にご臨席いただきました。また、新習志野

ご入学おめでとうございます。 先端材料工学科 本保元次郎

パスの当時の体育館(現在の7号館の場所)で挙行されました。体育館の後方に並べられた数列の椅子がご父兄の方々の席でした。当時と比べると隔世の感があります。 入学式後の新習志野キャンパスでは、あちこちで仲良く家族の記念写真を撮っている姿が見られました。 入試広報課 大橋 慶子